いのち、痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL

地域医療により大きく貢献!!

第17号
平成20年7月

災害拠点病院
病院機能評価認定　臨床研修病院

医療法人財団　池友会
福岡和白病院

〒811-0213
福岡市東区和白丘2丁目2-75
TEL.092-608-0001
E-mail:info@f-wajiro.biz
http://www.f-wajiro.biz

かかりつけ医を持ちましょう。

患者様の健康を地域で守ります。

かかりつけ医（診療所・医院・クリニックなど）と当院がお互いの長所を活かしスムーズな連携をとりながら、患者様に安心できる医療を提供いたします。

かかりつけ医とは？

「かかりつけ医」とは、風邪をひいた時などに気軽に診てもらったり相談にのってもらうことができる、お近くのお医者さんです。

地域医療連携システムによる患者様の流れ

普段の診察・処方は かかりつけ医へ

専門的治療・検査等は 福岡和白病院へ

専門的治療や検査、入院が必要な場合は → 福岡和白病院へ

病状が安定した患者様は → かかりつけ医へ

普段はかかりつけ医であるお近くの開業医や病院の先生方に診察・処方をしていただき、定期的に、あるいは専門的な治療が必要になった際には、先生からの紹介状をもとに当院で検査・診療を行います。その後、病状が安定した患者様には、ご紹介いただいたお近くの開業医や病院の先生方へ当院から症状等の情報提供書を交付致します。このようにかかりつけ医と当院が役割分担することで、効率的な医療を提供でき、待ち時間の短縮や、費用を抑える事ができるのです。

福岡和白病院は地域医療連携を推進しています。

かかりつけ医への紹介をご希望の方はご遠慮なくお申し出下さい。医療法人財団 池友会 福岡和白病院

福岡和白病院の基本理念と基本方針

基本理念

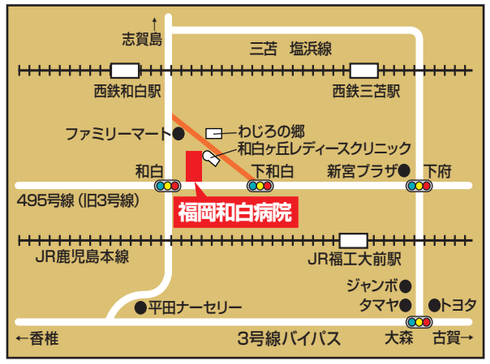
手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

基本方針

1．高度医療　学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2．総合医療　患者様と医療情報を共有し、急性期治療から、早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

3．地域医療　地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。



●伊藤　翼　新院長インタビュー

先端高度医療を展開する中核病院、救急病院として、安心と信頼をベースに、さらなる地域貢献を目指します。

医療法人財団　池友会　福岡和白病院　新院長　伊藤　翼

収録日　二〇〇八年四月二一日
取材ライター　石田　真奈美

今春、新しい病院職員が増えフレッシュな雰囲気で活気あふれる福岡和白病院。そのトップに立つのが、新院長に着任した伊藤　翼（つよし）医師だ。心臓外科手術の権威で、数々の難手術を成功させた実績を誇る。今回は伊藤新院長に、医療への抱負や当院での目標のほか、プライベートについても語っていただいた。

■「心臓血管外科」開設以来、20年にわたる交流

Q　本年四月、福岡和白病院の新院長に着任されましたが、当院に対する印象と着任された経緯を教えてください。

伊藤　1989（平成元）年、福岡和白病院が心臓血管外科を新設した際、佐賀医科大学（現・佐賀大学医学部）胸部外科から心臓外科チームを派遣したのがきっかけです。その後、佐賀医大の胸部外科の新入局員が夏休みに当院で1週間、合宿研修を行うなど交流が活発化。研修生も今では50人を越えました。

そんな20年前からの縁ですが、今回着任して、当院のスタッフはみな忙しく、いきいきと働いている印象を受けます。民間病院ならではの活気にあふれています。

Q　経歴をご紹介ください。

伊藤　出身は長崎県の対馬です。実家は対馬で唯一の造り酒屋で、兄姉弟8人の7番目。酒屋は継げないので、福岡に嫁いでいた姉の家に下宿し、高校、大学に通いました。

九州大学卒業後、71年に渡米。最初はニューヨークのハーレム病院に勤務しました。治安の悪さで知られるハーレム地区で、救急救命室には銃で撃たれた患者などが日常的に搬送されていました。その後、フロリダ州のペンサコーラ病院で勤務。当時の外科部長が知日家で、親しくしていただきました。ペンサコーラは映画『ジョーズ』が撮影された、とても美しいビーチがあるところですよ。

その病院ではチーフレジデントに昇格、米国での医師免許やグリーンカードも取得し米国での開業も可能でしたが、「やはり日本がいい」と帰国。九大時代の野球部の先輩の縁で、筑波大学の外科講師になりました。

○印が伊藤院長

佐大医学部の関連病院は、例えば福岡なら福岡徳洲会病院、新古賀病院、そして福岡和白病院。他にも長崎県、鹿児島県など九州全域や東京にも拡がっています。関連病院には私が指導してきた佐大卒業生が何人も在籍。その若い医師たちが実績を積み、地域に貢献する医師に成長しているのが喜びです。

■監督兼キャプテン、投手兼4番打者で試合出場

Q　筑波大へは大学の野球部時代の縁とのこと。趣味はスポーツですか？

伊藤　九大時代は硬式野球部に所属。九州6大学リーグ戦には4番・サードで出場しました。その後も医学部準硬式野球部に所属、西日本医科大学の大会では優勝経験もあります。その時は監督兼キャプテン、投手で4番打者でした。90年10月に筑波大学と東京ドームで交換試合をしましたが、それが何と日本シリーズの前日。翌日の巨人の先発投手は槙原選手だった。よくドームが借りられたものだと思います。

テニスも好きでしたが、50歳を過ぎてからゴルフを始めました。小児心臓外科医の会があり、その会の沖縄の医師の縁で、年末恒例ゴルフコンペで宮里藍ちゃんとそのご家族と何回もプレーしました。当時、藍ちゃんは小学6年生でしたが、大人と同じ飛距離だった。

趣味は、たまにプレーするゴルフですが、今はまだ着任早々で忙しく、それどころではありません（笑）。

前列左から４人目が伊藤院長

■九州各地の病院で活躍する教え子たち

Q　これまでどのような症例を手がけられたのですか。

伊藤　胸部・心臓血管外科として長年、多数の症例を扱ってきました。佐賀大学医学部における1981年～2007年の間の「開心術」の症例は総数3051例。また佐大医学部と関連病院合計の開心術症例は、91年頃は200例余でしたが、2002年以降は毎年800例を越え、2005年には年間1000例を数えました。

前列中央が伊藤院長

■ハートセンターの充実と大動脈センター設立が目標

Q　今後の抱負についてお聞かせください。

伊藤　福岡和白病院は24時間365日の救命救急態勢を基盤とし、先端高度医療の提供に努め、発展してきました。私も大学病院時代、救急医療に尽力してきたので、当院の理念は充分理解しています。

当院は地域の中核病院として、また病院と診療所の「病診連携」、病院同士の「病病連携」など地域医療の支援病院として、そして救急病院としての重要な役割があります。今夏には長崎・対馬の救急患者をヘリコプターで当院へ搬送する体制もスタート。私にとっては、故郷に貢献できる機会です。

専門の心臓外科としては、当院の「ハートセンター」をさらに充実、発展させたい。また「大動脈センター」の設立も計画。動脈瘤のステントグラフト治療、自己弁温存基部再建手術など、先端医療の普及と発展が目標です。

Q　最後に患者さんにメッセージを。

伊藤　アメリカで働いていた時、経済的に医療保険に加入できず、必要な手術や診療が受けられない人をたくさん見ました。日本の「国民皆保険」は非常に良い制度です。しかし近年、医療制度を取り巻く状況は厳しさを増しています。そんな中でも「福岡和白病院に行けば最高の医療が受けられる」と言われる病院でありたい。

医療も情報公開、インフォームドコンセント（充分な説明と合意）の時代です。患者さんには安心して信頼して受診していただきたいので、疑問があれば何でも尋ねて下さい。患者さんの命が助かる、元気になる、その喜びがあるから、私たちは忙しくても頑張れるのです。

Profile

医療法人財団　池友会　福岡和白病院
院　長　**伊　藤　　翼**
（いとう・つよし）

1942（昭和17）年、長崎県美津島町（対馬）出身。福岡高校、九州大学医学部卒。68年九大医学部附属病院外科研修医。71年7月～76年8月アメリカでインターン、外科レジデントとして勤務。76年筑波大学外科講師、82年佐賀医科大学外科学講師、85年同大学外科学教授、2006年同大附属病院副病院長。75年アメリカ合衆国医師免許取得、2004年第34回日本心臓血管外科学会会長。趣味は野球、テニス、ゴルフ。モットーは「人生の４原則＝無限の好奇心、無限の熱意、無限の楽天性、そして無限の友情」

新入職医師紹介

渡辺（わたなべ）　照男（てるお）
（臨床検査部長・特別顧問）

診 療 科：臨床検査科
出身大学：九州大学

病理診断を通じて日々の診療のレベルアップに貢献できればと思っています。また、大学での経験を生かしてリサーチマインドに根付いたお仕事についてお手伝いできればという思いもあります。福岡市東部の皆様方に信頼される高いレベルの総合病院を目指して頑張りましょう。

渡辺（わたなべ）　淳（じゅん）
（副院長・糖尿病センター長）

診 療 科：内科・糖尿病センター
出身大学：鹿児島大学

はじめまして。糖尿病の診療を専門にしております。食事や運動は必要と分かっていても実践は難しいと思いますが、皆さんと一緒に考えながら取り組んでいきたいと思います。

濵武（はまたけ）　諭（さとし）
（内科医長）

診 療 科：内科
出身大学：熊本大学

４月より内科で勤務しています。20年間の放射線科医としての経験を内科診療に役立てて、少しでもよりよい診療ができるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

有村英一郎（ありむらえいいちろう）

診 療 科：内科
出身大学：東京医科大学

今年４月より内科医として勤務しています。
　これまで主に肝臓疾患を専門に診療にあたってきました。皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

林（はやし）　晴男（はるお）

診 療 科：内科
出身大学：佐賀医科大学

本年４月より着任いたしました。内科一般・消化器内科系疾患の外来診療および消化管内視鏡検査を担当します。わかりやすい説明を心がけ、患者様の心と身体にやさしい医療を目指します。どうぞ宜しくお願い致します。

白馬（はくば）　雄士（たけし）

診 療 科：心臓血管外科
出身大学：佐賀医科大学

４月より心臓血管外科に赴任しております。皆様に安心して医療を受けて頂けるよう、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

市頭（いちがしら）　教克（のりよし）
（眼科部長）

診 療 科：眼科
出身大学：福岡大学

今年４月より勤務しています、眼科の市頭です。「いちがしら」と読んで下さい。大学病院から、地方のクリニックまで、色々な病院で勤務してきた経験を生かして頑張っていきます。どうぞ宜しくお願いします。

津田（つだ）　泰任（やすひで）

診 療 科：ハートセンター循環器科
　　専修医
出身大学：山口大学

昨年、関連施設の新行橋病院に異動し、４月に戻ってきました。
その経験を今後の診療に生かし、皆様に満足していただける診療を行ないたいと思います。宜しくお願い致します。

中原（なかはら）　誠之（まさゆき）

診 療 科：整形外科　専修医
出身大学：徳島大学

関連病院の新小文字病院から、こちらの整形外科に赴任して参りました。救急病院の整形外科として、24時間の適切な診療を行なうために、力になれればと思います。よろしくお願いします。

臨床研修医の紹介

岩本（いわもと）　修一（しゅういち）

出身大学：広島大学

研修医１年目の岩本です。
　大学ではバスケットボール部に所属していました。
部活で培ったチームワーク精神を生かして日々励みます。宜しくお願いします。

小比木太一（おこのぎたいち）

出身大学：宮崎大学

趣味はスポーツ（特にバスケット・水泳）と和太鼓です。「どげんかせんといかん」の精神で頑張ります。

仙波（せんば）　明子（あきこ）

出身大学：広島大学

４月より、福岡和白病院で研修させて頂いています。大学は広島でしたが、地元九州に帰って来れて嬉しいです。できるだけ早く新しい環境に慣れていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

豊福（とよふく）　隆将（たかまさ）

出身大学：高知大学

高知から来たので福岡のことは右も左もわからない状態ですけど、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。

中島（なかしま）　竜太（りゅうた）

出身大学：宮崎大学

こんにちは。今年の４月より和白病院で働いています。まだ右も左も分かりませんが、ここでたくさんのものを得て、医療の世界という荒波を乗りきっていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

中山（なかやま）　鎮秀（しずひで）

出身大学：神戸大学

医師としては１年生で分からないことだらけですが、充実した設備があり実力の高い指導医の先生方の多い福岡和白病院で精一杯頑張っていきたいと思います。

新村（にいむら）　辰臣（たつおみ）

出身大学：久留米大学

医師となってまだ１年目で皆様に迷惑をかけるとは思いますが、よろしくお願いします。

福田（ふくだ）　勇人（はやと）

出身大学：久留米大学

初めまして。研修医１年目の新参者です。
　これから勉強していくものが多く、色んな人の力をかりて、頑張っていきたいと思います。

丸屋（まるや）　安広（やすひろ）

出身大学：長崎大学

大学ではラグビーをしていました。ラグビーのように泥臭く頑張りますのでよろしくお願いします。

新年度になり、新たに多くの医師・研修医が福岡和白病院に入職致しました。今度とも、宜しくお願い致します。

村上（むらかみ）　美菜（みな）

出身大学：島根大学

ライバル達に負けないように、おいていかれないように精一杯頑張ります。

脇山（わきやま）　幸大（こうた）

出身大学：佐賀大学

幼少時より剣道をやっており、体力には自信があります。一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

トピックス

新人歓迎会

入職者を歓迎し、親睦を深めるために歓迎会を行いました。仕事のときとは違った一面もみることができ、良い機会となりました。

入職式

平成20年4月1日に入職式を行いました。今年は、医局21名、看護部87名、医療技術部 26名、事務５名の合計139名の職員を迎えることが出来ました。より良い医療の提供のために、頑張りますので宜しくお願い致します。

どんたく参加

今年も昨年に続いて、病院の隣にある福岡看護専門学校の学生さんとともに、どんたくに参加しました。仕事や授業の後に練習した「かっぽれ」を踊ってきました。皆様の中でご覧になられた方はいらっしゃったでしょうか？

プール開き

ゴールデンウィーク中に、玄海で毎年恒例のプール開きを行いました。関連病院の職員も含め、親睦の場となると共に、家族団らんの場にもなりました。

『カウンセリングルーム』

職員向 お悩み相談室

室長で聴き役の臨床心理士、西間よしみです。ひとりで悩まず、私を活用して下さい。

質問 『カウンセリングルーム』って何をするところですか？

答え 人間だれしも気持ちが落ち込んだり、情緒不安定になることがあります。その状態が長引く時はどうしますか？身体の不調であれば周囲に相談したり、病院を訪れたりしませんか。ところが、心がからむと自分ひとりで悩み、周囲から見てわかる程になるまで我慢しがちです。

そこで当院では、病院にかかるほどではないが、かといって友人や上司に悩みを相談するのも恥ずかしいという方々に、気軽に悩みを打ち明けられる場として『カウンセリングルーム』を開設しています。

人に話すことで、心の整理が進み、自分の中に既に解決の糸口があることに気付くこともありますよ。

新しい環境への適応に頑張ってきた新人さんも、そろそろ疲れがたまる頃です。「臨床心理士さんってどんな人？」と顔を見るだけでも良いので、お気軽にお越しください。

お待ちしております。

質問 場所は？　曜日、時間は？

答え 管理棟３階安全管理室　毎水曜日　AM10:00 ～ PM15:30 まで
内線 3020 で予約してください。